

ダブルブラウザ・ソリューション紹介資料

■資料概要

近年急増する標的型攻撃への対処法として、総務省・IPA(独立行政法人情報処理推進機構)・NISC(内閣サイバーセキュリティセンター)は相次いで個人情報などの重要情報を扱うシステムをインターネットから分離するよう求めています。

アシストの「ダブルブラウザ・ソリューション」は、仮想ブラウザ方式を用いてユーザの利便性を犠牲にしないネットワーク分離を低コストで実現。クライアント仮想化製品「Ericom」を基盤としており、低価格なライセンス体系とシンプルな構成が特長です。さらに、一般的にトレードオフと言われる強靱なセキュリティとユーザの使い勝手を両立する豊富な機能を有します。

株式会社みずほトラストシステムズ様などの金融機関をはじめ、自治体や製造業など国内およそ10万ユーザに利用されています。自治体情報システム強靱性向上モデルにも完全対応します。

全50ページにも及ぶ資料です。アシストホームページでは公開されていない、ここでしか手に入らない情報も満載ですので、是非お申し込みください。

■目次

1. 標的型攻撃に有効な対策とは
標的型攻撃による情報漏洩の流れや、最も有効な対策について
2. 総務省ガイドラインにて「インターネット分離」が推奨
「自治体情報システム強靱性向上モデル」と「自治体情報セキュリティクラウド」について
3. ダブルブラウザ・ソリューションの概要
ダブルブラウザ・ソリューションを使ったマルウェア無効化の方法、ユーザ利用イメージ、自治体強靱性向上モデルへの適用イメージについて
4. 価格破壊を起こす「Linux 対応版」
2つの方式(Windows 版/Linux 版)での価格・機能比較について
5. ダブルブラウザ・ソリューションのシステム構成
Windows 版/Linux 版/ハイブリッドでのシステム構成、稼動 OS、推奨スペックについて
6. 参考情報
導入事例、体験デモサイト、ソリューションの応用例について

資料をダウンロード 

